

令和元年度 鶴見区災害ボランティアネットワーク事業計画

鶴見区災害ボランティアネットワークでは、災害時の支援活動を積極的に行うボランティア並びにボランティア団体がお互いの主体性を尊重し、平常時から分野を超えて幅広く交流し、ボランティア団体、関係機関、社協及び行政との連携の充実を図るために下記の事業を行います。

1. ボランティア、ボランティア団体、関係機関等の交流と情報交換

(1) 運営委員会の開催

以下の日程で原則午後6時から開催します。

5月23日(木/総会・研修会)、6月26日(水)、7月24日(水)、8月28日(水)、
9月25日(水)、10月23日(水)、11月27日(水)、12月18日(第3水曜日)、
2020年1月15日(第3水曜日)、2月26日(水)、3月25日(水)

運営委員会では、事業の検討及びボランティア・団体・施設・区役所との情報交換を行います。

(2) 総会の開催

5月23日(木)に総会を開催します。合わせて防災に関心のある地域の方も対象とした研修会を開催します。

(3) 災害ボランティアネットワークAブロック連絡会への参加

近隣区(鶴見、神奈川、西、中、南)の連携をはかるため、持ち回りで連絡会を実施し参加します。

(4) 神奈川・横浜災害ボランティアネットワーク会議及びその主催する研修会への参加

県・市域での防災関係の情報を取得・共有し、関係団体・機関との連携をはかります。

2. 災害時の支援活動を行うための検討・研修

(1) 災害ボランティアシミュレーション、防災関係研修等の実施

一般の方や地域防災拠点の担当者を対象とした災害ボランティアシミュレーション訓練を行います。加えて、地域の方を対象としたDIT、HUT、クロスロード等の研修会を行います。また、地域防災拠点から依頼を受け防災訓練等に参加します。

(2) 発災時の活動の検討と関係機関との共有

関係団体・機関、区役所、区社協と連携した災害時の具体的な動きについて検討・情報共有します。特に、市災害ボランティアセンターとの連絡手段としてIP無線機の運用をし

3. 災害時に効果的な活動を行えるコーディネーター等の養成

(1) 災害ボランティアシミュレーション等を実施する中で、災害ボランティアセンターを円滑に運営する能力や、運営に有効な情報の収集能力を高めます。

(2) 災害ボランティアコーディネーター研修等により災害時に活動を担う人材を育成します。

4. その他、目的達成のため必要な事業

(1) 災害ボランティアのPRと区内関係団体との連携

一般の地域の方が集まる機会(臨海フェスティバル等)に、PRパンフレットの配布、活動パネルの展示、防災啓発等を行い、興味関心を持つ方及び会員の増加をはかります。

災害ボランティアを含め防災活動意識の普及啓発をめざし、出張講座等の依頼に対応します。

(2) 防災意識の醸成

会員が、地域防災拠点の方々やボランティア関係団体・当事者団体及び大学生と合同で訓練・研修を行う等、防災への興味・関心を高める活動を行います。